

東京家政大学のファッションショーに PVC製デザインアクセサリ登場

10月22～23日に東京板橋区にある東京家政大学の学園祭「緑苑祭」にてファッションショーが行われました。

このファッションショーは服飾学生を中心に行う学園祭の最大イベントです。

今年のコンセプトは「纏ふ」(matou)

私たちは毎日様々な動作により服を身に纏っています。

例えばジャケットを羽織って、ボタンを留めて、帽子を冠り、マフラーを巻き靴を履いて、靴ひもを結ぶなど「羽織る・留める・冠る・巻く・履く」の五つのテーマに沿った様々な自作衣裳がステージを彩りました。

今回総勢315名の服飾学生が一丸となって広報、企画、運営などを行い、ショーを演出しました。

モデルも素人の学生たちです。この日の為にウォーキングやポージングなどを練習したそうです。

衣裳も細部までこだわった作りで、クオリティーも高く、パワー溢れる創造力と優れた感性が観衆に届きました。

今回日本ビニル工業会が協力したのはナース衣裳のアクセントとなるPVC製のデザインアクセサリです。一見、血液バッグを彷彿させるユニークな小物です。

服飾学生からの依頼で定岡デザイン研究所様にもご協力して頂き腰、腕、太ももに付ける5種類のアクセサリを製作して産学協同作品として提供しました。

3年前にもPVCシートと蛍光塗料を提供して学生が色鮮やかなスカートの作成に協力しました。

今後ソフトPVC素材が身近な衣裳などの分野にも幅広く展開されればと思います。



◀▶血液バッグを付けたナース衣裳

▶デザイン血液バッグ



【日本ビニル工業会 鈴木 環】

編集後記

今月号の特集で出てくるZEHでは高効率設備の導入によりまず20%以上の省エネを行うとされていますが、それに大きく貢献するのが高断熱性能を誇る塩ビ製樹脂窓です。非結晶性であるがゆえに押し出し成型時の寸法安定性がよく、断熱性を持たせるための窓枠の複雑な中空構造が精度良く再現できるのは塩ビでしかできない芸当です。ZEHの普及に伴い、塩ビ製樹脂窓の普及に弾みがつくことを期待しています。言葉では、「ZEH: ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」とエネルギー重視な言葉ですが、これはイコール「住まいの快適性」と捉えることができます。本号で紹介した東大シンポジウムで、パネリストの方の、2050年はすべてが再生エネルギーで使い放題、そしてそういう快適な社会はいずれ実現する、という趣旨の発言が印象に残りました。

PVC Design Award 2016の表彰式が行われ、今年の受賞作が決定しました。「安心・安全・快適」をテーマに沢山の作品が寄せられ、今年も多彩な分野、用途の作品が選ばれています。毎年作品を見るたびに塩ビの多才ぶりには感心します。受賞作品、表彰式の様子はVECのHP (<http://www.vec.gr.jp/>)、メルマガ (<http://www.vec.gr.jp/mailmag.html>)でも紹介しておりますので是非ご覧ください。(小坂田史雄)

お問い合わせ先

塩化ビニル環境対策協議会 Japan PVC Environmental Affairs Council

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1(住友六甲ビル8F) TEL 03(3297)5601 FAX 03(3297)5783